

和合

No.137

2020.11.15

題字：三浦修次

主な掲載記事

- | | | | |
|------------------------|----|-------------------------|---|
| ・和合探訪 | 2 | ・はやぐおっきぐなれの～！ | 3 |
| ・よつばっこ通信 | 4 | ・わたしが描く和合の里 | 5 |
| ・わたしから見た和合の里 | 5 | ・畑にこんにちは | 6 |
| ・季節の郷土料理 | 6 | ・人生100年時代 | 7 |
| ・わごう駐在所 | 7 | ・和合の里フォトコンテスト入賞作品 | 8 |
| ・和合の里INFORMATION | 12 | | |

和合探訪

－和合のルーツ
ここにあり！－

大真木編

◆参考資料

『十六合史』

十六合地区総合振興協議会 発行

村のはじまり

十六合史によると大真木は当初、小真木村として元和二年（1616年）に創基したといわれています。これは北楯大堰開削の4年後のことです。小真木村の開発は北楯大堰の狩川新田堰より分水した南堰に用水路を設けて開発されたもので、その下流の村々より一足先に開村しました。開発当時は最上家の領土でしたが、間もなく酒井家の領



↑ 皇大神社

土になりました。寛文9年（1669年）に行われた検地の記録によると土地は田畑合わせて29町3反8畝2歩、村高は398石6升4合（およそ59,711kg）とあり、村高の推移をみると、正保3年（1646年）の郷帳には高389石2斗1升3合、慶応3年（1867年）では401石9斗9合、この反別29町3反16歩という記録があることから寛文の年代までにほとんどの開拓が終わったと思われます。明治9年（1876年）、地租改正の際に庄内に同じ名称が鶴岡と飽海郡の2か所にあったことから小真木村を大真木村と改めました。

伝承

慶長6年（1601年）最上義光公は狩川城に北楯大学助利長を配置しました。当時の狩川の東西南北の原野は耕作すべき用水はもちろん、暑さをしのぐ清水もなく、ぽつぽつ露がしたたるような沢水が流れるだけでした。そこで大学助利長は立谷沢の流れを引き入れるため北楯大堰の掘削を計画し、主君の最上義光に提案しました。慶長16年（1611年）用水堰開削計画の実施の許可を得て、慶長17年3月この大工事に着手、数々の苦難を乗り越え7月21日、工事打ち止めの標杭を打つことができました。

その当時の大真木の地形は狩川城から見下ろすと馬の背のような傾斜をしており、そのため、探検などの往来に便が良かったそうです。そして、現在の神社のそばに大きな松の木があり、堰筋検地往復の際にこの松の下で休憩をしていたため、この松は検地の松と言われました。境内から東南方向に約40間（約70m）離れたところに御燈明田と言われた4坪5合の田地の遺跡があり、神社の祭典にはこの田地の収穫をもって献燈することをならわしとしました。これは、検地の際に松の下で休んでいると、境内から遺跡の田地に瑞雲がもくもくとかかり、ただごとではないと思い、そこを見てみると不思議にもひとつの御神体でした。それ以来、この松の下に堂宇（お堂）を建立し、産土神として観世音を安置したそうです。

堰筋検地の際、最上義光より御家老清大輔光が検地役として派遣されました。この人は小真木地方新田開発時由右エ門と名乗り、新田開発に従事し、この産土神を尊く崇敬したと言い伝えられています。

その当時、大堰は開削したもの飲料水は少なかったそうです。余目堰にかけた小真木橋から水が湧き出し、開発する人たちの飲料水となったことにより次第に戸数が増え、今の村落となったそうです。

小真木豆

昔、大真木にはたくさんの空き地があり、その空き地を畑にしました。その畑で枝豆や野菜を育て、狩川へ売りに行き、生計を立てていました。すると小真木の枝豆は味が良いと人づてに評判になっていきました。ただ、作付面積が少ないため、あまり市場に出回らないそうです。小真木の畑は枝豆栽培に合う土で、おいしい枝豆ができるそうです。

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!



- 1 名前の響きと上の子がひろとなので同じく「と」で合わせました。
- 2 まだ、ネンネの時期でどのくらい見えているのかわかりませんが、お兄ちゃん、お姉ちゃんの動きや声を目で追いかけています。
- 3 上の子たちに比べて結構セルフで寝てくれて助かっています。笑
- 4 6月うまれで長ソデロンパースを準備してましたが暑くてほぼ着ずにサイズアウトしてしまいました。
- 5 お兄ちゃん、お姉ちゃんと仲良く健やかに育ちますように😊

はると
丸山 晴大ちゃん

(前田野目)

令和2年6月8日生まれ

パパ：洋志^{ひろし} ママ：望^{のぞみ}



はるいち
長堀 春市ちゃん

(福島)

令和2年5月29日生まれ

パパ：周^{しゅう} ママ：愛^{あい}



- 1 春のように希望に満ち溢れて、市井に左右されない強い信念を持ってほしい。
- 2 寝返りとゲーの手をちゅぱちゅぱすること。
- 3 3ヶ月半で寝返りをしたこと。上の子はなかなか寝返りをしなくて、(たぶん保育園で習得してきたので)寝返りが見れてすごく嬉しかった!
- 4 オムツを交換している時におしっこをされて、一度に3枚も使ってしまったこと。それと交換した直後にうんちをされたこと(泣)
- 5 いつもにこにこ笑顔でみんなを癒してくれるはるくん。これからも笑顔・元気でお姉ちゃんと仲良く、すくすく育ってね☆



Q1 名前の由来は? Q2 今一番の興味やはまってることは? Q3 最近記憶に残ったエピソードは?

Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ



余目第四幼稚園

よつばっこ通信

🍀待ちに待った！亀の赤ちゃん 誕生！！

▶ジグザグにひびが入りました



▶もう少し！



▶手が出た！
がんばれ



▶おめでどう！元気に産まれました！



7月17日に、お母さん亀が、卵を3個産んでから、74日目に無事赤ちゃんカメが産まれました！今年は1個は砂の中、2個はいつものようにミズゴケの中に・・・・・・

「早く産まれないかなー？」「何だか、卵が膨らんできたよ」「楽しみだね」とみんなで見守っていました。そして迎えた、9月29日！運動会が終わり、ゆっくりと達成感を味わっている時、なんと、砂の中に入っていた卵が、びりっとひびが入り、何時間もかけてゆっくり赤ちゃんカメさんが誕生したのです！黒々しくてお目目もパッチリ！

「かわいいー♡」「小っちゃいね！」「しっぽが長ーい」と大喜びの子ども達でした。昨年度は無精卵？で、残念でしたが、今年は無事産まれてきてくれて、良かった良かった！そしてなんとその2日後！ミズゴケの中の卵からも、赤ちゃんカメさんが産まれたのです。2匹とも、身長(甲羅)3センチ・体重7グラムでした。

名前は、子ども達に募集して、考えてもらおうかな？と思っています。

どんな名前になるかな？お楽しみに♪

ぜひ、2匹の赤ちゃんカメさんを見に来てくださいね。

▶仲良し兄弟です♡



わたしが描く和合の里

〔佐藤 旭〕
〔南野 旭〕



ぼくは、和合の里の楽しく、みんな仲よく地域の人ともいっしょに活動できるところが好きです。例えば地域の人がぼく達のことを見守って、いっしょに遊んでくれるところがいいなあと思います。これからも地域の人と子ども達が年も関係なくいっしょに仲よく活動していけたらいいと思いました。

ぼくが好きな和合の里は、地いきの人たちが優しいし、友だちといっしょに仲よく楽しくすごせます。みんなで外でおにごっこやかくれんぼをするのが好きです。地いきの人たちと会うといつも声をかけてくれるのもうれしいです。これからも、大好きな和合の里で元気に登校したいです。



〔京島 永田 隆道〕
〔京島 隆道〕

〔三浦 美尋〕
〔小出新田 美尋〕



私が好きな和合の里は、地域の人にあいさつをすると明るくあいさつをかえしてくれて、毎日、元気に学校に行けるところです。私はこの明るい和合の里が好きです。これからもあいさつ自まんて笑顔あふれる和合の里になってほしいです。

ぼくが好きな和合の里は、いじめがなくみんなが仲よくすごせる所です。ぼくは、毎日友達とグラウンドでサッカーをしています。晴れている日は、鳥海山がきれいで、大好きです。ぼくが大人になっても、いじめのない、和合の里を守って行ってほしいです。



〔吉方 渡會 大翔〕
〔吉方 大翔〕

〔加藤 結愛〕
〔主殿新田 結愛〕



私は、笑顔いっぱいの和合の里が、大好きです。地域の方は、あいさつをすると、笑顔でやさしくあいさつをかえしてくれるのでうれしいです。みんなが笑顔になれるところなので、これからも、この和合の里を大切にして、未来にも残していきたいです。

わたしから見た和合の里



お世話になります。

この四月に余目四小に赴任してきました。

コロナ禍で、地域の方にお会いする機会がなかったのですが、この寄稿が紹介の一助となれば幸いです。

余目四小学区といえば、「阿部亀治」のふるさと、「亀の尾」の里として有名ですし、真っ先に浮かぶ言葉です。米どころ庄内平野を代表する自然あふれる土地であるとともに「内藤秀因」出身の地でもあり、歴史と伝統あふれる土地柄なのだと再認識しています。

加えて、わたしが余目四小（和合地区）にもついイメージがもう一つあります。

それは、「元気で活気がある地域で、運動能力が高く、優秀な人が多く出てくる地域」というイメージです。

顕著な例は、運動面での活躍です。最近では、小学校の陸上リレー競技で、鶴岡田川はもとより、山形県の大大会でも活躍していたのを覚えていました。近年でもソフトボール投げで全国大会に出場していました。さらに、まさに今、円盤投げで全国的に活躍している齋藤選手など多くの人が活躍しています。

なぜ、こんなに活躍する人たちが出てくる地域なのだろうかと興味をもちます。

現在の余目四小の子どもたちは、先人先輩の後輩にあたります。同じように力を発揮する「可能性」は十分に秘めています。子どもたちの成長が楽しみであり、それに関われることも喜びです。

これからよろしく願います。

庄内町立余目第四小学校 教諭 齋藤 明 先生

人生100年時代



庄内町役場 保健福祉課
高齢者支援係
主任 佐藤 敦史

～高齢になっても安心して
暮らせる地域にするために、
地域での支え合いが重要です～

昨年度より町では、高齢者の生活で困ったことを解決するための有償ボランティア団体「はっぴいサポート」の立ち上げに取り組み、今年度より活動開始に至りました。

利用者は高齢者のみの世帯を対象としており、活動範囲は余目第1～4学区の範囲です。支援の内容については、お宅に訪問しての家事援助や通院などの外出のお手伝いを行います。有償ボランティアのため、利用した方から謝礼をいただきます。これは、助けられる側が無料で助けてもらうのは申し訳ないという気持ちを抱かせない点と、助ける側がボランティア活動が続けられるようになる点で双方に良い点があります。

町では、このような住民主体の活動を行う団体に対して支援していくところです。ご近所の間で助け合っている方もいると思いますが、地域全体で見て、支援を必要としている方が支援を受けられるような仕組みづくりが必要です。目指すのは「高齢になっても安心して暮らせる地域」です。そのために、地域で何ができるのか？地域の皆さんで考えてみませんか？高齢者支援係では、支え合いの仕組みづくりのお手伝いをします。地域の支え合いについて知りたい方、ボランティア活動をしたい方、ぜひご連絡ください。

問合せ先 高齢者支援係 ☎ 43-0490

薬物乱用防止

《NO DRUGS!!》

わごう駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



【大麻に対する間違ったイメージが広がっています】

- たばこより安全？
→たばこより有害で、脳の正常な成長を妨げる
- 依存性がない？
→依存性があり、自分の意志でやめることが困難
- 一回だけなら大丈夫
→幻覚、記憶障害、学習能力の低下、人格の変化などを引き起こす



【大麻とは】

- 乾燥大麻(「マリファナ」、茶色又は草色)、大麻樹脂(「ハシシ」、「ガンジャ」、暗緑色の棒状又は板状)、液体大麻(「ハシシオイル」、暗緑色又は黒色の油状)がある
- 「ハッパ」、「クサ」等とも呼ばれている
- パイプ、水パイプ等で吸煙する
- 酒に酔った感覚や手足などに麻痺等が現れるとともに、視覚、聴覚、味覚、触覚等の感覚が鋭敏になり、現在・過去・未来の観念が混乱して思考が分裂し、感情が不安定になる
- 興奮状態に陥り、暴力や挑発的な行為を行うなど無責任な衝動的行為を行う

《ちょっとした好奇心が命取りです、おかしいなと思ったらすぐ連絡を！》

庄内警察署 45-0110 / 山形県警本部 覚醒剤相談 023-635-1074

和合の里の魅力てんこもり!!
稲種“亀ノ尾”選出者 阿部亀治記念

第2回 和合の里 フォトコンテスト 入賞作品

和合の里に息づく風景やここでしか見ることができない自然の美しさなど和合の里の魅力が描き出されました。

〈一般の部〉

最優秀賞



「杭掛」大友 治生さん（本小野方）
（撮影場所：前田野目）



講評

最近では珍しくなった稲刈り後の杭掛け作業、構図も奥行きがあって鳥海山を背景にお母さんが稲を積み上げる表情が伝わる作品です。

優秀賞 2点



「小出沼の春」 工藤 茂一さん（古関）
（撮影場所：小出新田）



「春うらら」 荒木 伸彌さん（南野）
（撮影場所：沢新田）

優良賞 5点



あさぎり
「朝謁」 大友 治生さん（本小野方）
（撮影場所：前田野目）



「さなぶりの頃」 石崎 幸宏さん（狩川）
（撮影場所：古関）



「豊作に向けて」 荒木 伸彌さん（南野）
（撮影場所：福島）



「風の尾」 小林 優太さん（宮城県多賀城市）
（撮影場所：連枝）



「節分の朝」 小林 亜季さん（連枝）
（撮影場所：連枝）

〈小学生の部〉

最優秀賞



「田んぼからきれいなにじが」 加藤 沙季さん（余目第四小学校4年生）
（撮影場所：小出新田）



講評

虹をきれいに写した作品です。虹は見つけてもすぐに撮影しないと消えてしまうのでシャッターチャンスもよかったと思います。



優秀賞 2点



「はじめてみたよ ひつじ」
石崎 叶芽さん（立川小学校 1 年生）
（撮影場所：小出新田）



「バイクできょうそうだ」
石崎 朝光さん（立川小学校 3 年生）
（撮影場所：カートソレイユ最上川）

優良賞 3点



「私の通学路」
加藤 沙季さん
（余目第四小学校 4 年生）
（撮影場所：小出新田）



「はやいなあ バイク」
石崎 叶芽さん（立川小学校 1 年生）
（撮影場所：カートソレイユ最上川）



「羊がよってきた」
石崎 朝光さん（立川小学校 3 年生）
（撮影場所：小出新田）

入賞作品展

11 月 20 日（金）～12 月 3 日（木）余目第四公民館ロビーで開催します。

地域啓発標語が決定

余目第四小学校の児童を対象に地域啓発標語の募集を行い、このたび応募総数127点の中から最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作3点が選ばれました。結果は下記のとおりです。

最優秀賞	「育ったふるさと キレイに残そう 未来まで」	石 崎 夏 帆 さん (5年)
優 秀 賞	「ひだりみてみぎみて、かくにん よし、わたろう」	さとう ゆづき さん (1年)
優 秀 賞	「まもろうよ こう通ルールと みんなのいのち」	ごとう えいと さん (2年)
優 秀 賞	「さかせよう みんなのえがお あいさつで」	佐 藤 き い さん (3年)
優 秀 賞	「(和)やかに (合)わせる笑顔 (里)づくり」	加 藤 沙 季 さん (4年)
優 秀 賞	「きれいな古里 みんなで守る 我が和合」	佐々木 詠 都 さん (6年)
佳 作	「じてんしゃにのるときは みんなでかぶろう へるめっと」	さとう あさひ さん (1年)
佳 作	「今だから つなぐ手と手で 明るい和」	押 切 徠 希 さん (4年)
佳 作	「夢いっぱい 自然豊かな 和合の里」	五十嵐 歩 夏 さん (6年)

最優秀賞、優秀賞の標語については余目第四公民館の前に看板を掲示し、最優秀賞はタペストリーにして部落に配布しております。



さつまいも掘り

10月21日（水）、余目第四幼稚園でさつまいも掘りが行われました。

幼稚園の畑で育てたさつまいもを園児みんなで茎を引っ張り、手で土を掘ったりしてさつまいもを楽しそうに収穫していました。その後、さつまいもと一緒に育てていた落花生あわせて収穫しました。

編集後記

余目第四公民館では安心してご利用いただけるように対策を実施しています。例えば、職員が多くの方が触れそうな場所の定期的な消毒やご来館の方にマスクの着用をお願いなどをしています。こんなご時世だからこそ、公民館の本来の役割「つどう、まなぶ、むすぶ」が大切だと思います。皆様の力になれることがあればお手伝いさせていただきますので、ぜひお気軽に公民館にご来館ください。